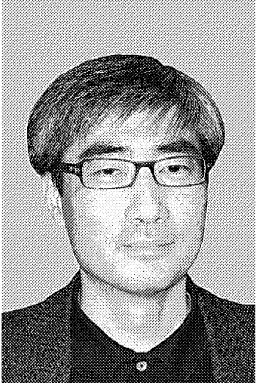


サブプライム危機 見通しを聞く

米国の信用力の低い個人
の第二段階では影響が銀行
向け住宅融資（サブプライ
ムローン）問題が世界に広
がってから一年が過ぎた。
金融機関の関連損失はなお
拡大を続け、市場の動揺も
収まっていない。専門家に
米金融市場の先行きや世界
経済への影響を聞いた。

「米金融市場の現状を
どうみるか。」
「危機は一段と深まって
いる。昨年未までの第一段
階でまず、サブプライムシ
ョックが金融機関のバラン
スシートを襲い、銀行間の
相互不信が激しい信用収縮
を引き起こした。年初から
融株は年初から半値以下に



米プリンストン大教授
ヒュン・ソン・シン氏

韓国生まれ。英国で育ち、英オックスフォード大で博士
号を取得。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス教授
などを経て現職。金融危機の研究で知られ、昨夏から「銀
行の資本不足が実体経済に影響する」と指摘してきた。

下落しており、資本増強は
容易ではない」
「金融損失はどこまで
膨らむか。」

公的資金 必要な段階

「控えめに見積もっても
一兆ドルに達するだろう。こ
れは日本が経験した不良債
権の損失に匹敵する。経済
情勢次第でさらに増える可
能性がある。銀行貸し出し
の大きな部分を占める優良

六月のピークから約二割下
落しているが、四割下がる
という予測もある」
「情勢は日本の『失われ
た十年』と酷似しつつある。
相次ぐ地銀の破綻で米連邦
預金保険公社（FDIC）

「米国にとって大恐慌以
来最も深刻だと思つ。経済
の心臓部である住宅市場と
銀行部門で問題が起きてい
るためだ。ブラック・マン
デー、貯蓄組合（S&L）
危機やヘッジファンド破綻
の影響は金融システムの一
部に限られていた。過去の
住宅不況は地域現象で、全
米で同時に住宅価格が下が
るのも大恐慌以来だ」
「米連邦準備理事会（F
RB）は流動性対策などシ
ョック緩和のためにやれる
ことはやってきた。だが、
バブル醸成を防げず、崩壊
後も対応が後手に回った面
は否めない。金融政策は経
済成長と物価安定に焦点を
あて、資産価格には直接関
知せず、バブルがはじける
まで放置するのがFRB流

「米経済の今後は。
「金融情勢の深刻さの割
に米経済は弾力性を発揮し
てきた。だがガソリン高も
加わって自動車、航空、小
売業などの業績が悪化。失
業率も上がってきた。年後
半に景気後退（リセッション）
を回避するのは非常に
難しいのではないか。しか
も、問題の根この住宅市
場と金融の正常化のめどが
立たず、経済の停滞がどこ
まで長引くか不透明だ。次
期大統領は公的資金投入の
決断を迫られるだろう」
（聞き手はニューヨーク
● 発田真人）